

平成22年度（2010年）事業報告

（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

1. 試合の管理運営に関して

(1) 世界（男子20／女子7）、東洋太平洋（男子34／女子10）、日本（31）の別記タイトルマッチ及びその他合計233興行（1902試合）の試合管理を行う。

〔別表1参照〕

(2) 選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンスの発給。発行総数4743件。

〔内訳〕

ボクサー	2707	トレーナー	585	タイムキーパー	12
プロモーター	94	セコンド	463	進行	5
クラブオーナー	277	マッチメーカー	5	アナウンサー	10
マネージャー	398	レフェリー	99	ドクター	89

〔ボクサーの内訳〕

	男子（うち外国人）		女子（うち外国人）		合計	
A級	698	(147)	29	(13)	727	(160)
B級	260	(12)	13	(3)	273	(15)
C級	1654	(11)	53	(2)	1707	(13)
合計	2612	(170)	95	(18)	2707	(188)

(3) プロボクサー新人テスト実施

C級受験者総数（男子） 839名 合格者 437名 合格率 52.1%

C級受験者総数（女子） 16名 合格者 12名 合格率 75.0%

B級受験者総数（男子） 8名 合格者 8名 合格率 100.0%

〔内訳〕

		北海道地区	東京地区	中部地区	関西地区	西部地区	合計	
男子	C級	受験者数	3	478	47	216	95	839
		合格者数	3	251	29	80	74	437
		合格率	100.0%	52.5%	61.7%	37.0%	77.9%	52.1%
	B級	受験者数	-	6	1	-	1	8
		合格者数	-	6	1	-	1	8
		合格率	-	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%
女子	C級	受験者数	-	9	1	3	3	16
		合格者数	-	5	1	3	3	12
		合格率	-	55.6%	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%

(4) 日本ランキング決定、発表（月例）

(5) 試合役員研修会（東京地区月日他原則毎月、他4地区は随時）

採点基準、レフェリング（反則処置）、事故防止他。

2. 安全防護に関して

(1) JBC・JPBA医事講習会及びセコンド講習会

[開催日時] 2010年8月5日

[開催場所] 後楽園ホール5階展示会場

[参加者] 130名

[講義内容]

①「八巻裕一選手（野口）リング事故報告」

講師 谷 諭コミッションドクター（東京慈恵会医科大学 脳神経外科教授）

②「急性硬膜下血腫はどうして起きるのか」

講師 谷 諭コミッションドクター（東京慈恵会医科大学 脳神経外科教授）

③「キッズボクシングから世界へ！でもその前に」

講師 野中 雄一郎コミッションドクター（東京慈恵会医科大学 脳神経外科）

④「セコンドの職務と責任について」

講師 森田 健元試合役員会会長（JBC理事）

[概況]

2月19日後楽園ホールにて行われた8回戦でTKO負け後、急性硬膜下血腫で亡くなった八巻裕一選手（野口）のリング事故報告を基に、改めて頭部外傷のメカニズムの講義がなされ、加えて、U-15ボクシング活動の推進に伴い、成長期における脳の発達の仕組みや注意点も併せて講義された。また、昨年7月に引き続きセコンド講習会を併せて開催した。

これら講習を通じて、業界をあげて関係者の安全防護に対する意識のより一層の向上が図られた。

尚、講習会参加者全員に「講習会受講証明書」と「セコンドマニュアル」が配布された。

(2) リング事故

①八巻裕一選手（野口）

2月19日、後楽園ホールにおいて行われた50.0キロ契約ウエイトノンタイトル8回戦に出場、TKO負け後、救急搬送。2月22日急性硬膜下血腫により死亡。

②岳たかはし選手（川崎新田）

4月26日、後楽園ホールにおいて行われた158ポンド契約ウエイト8回戦に出場、判定負け後、救急搬送。急性硬膜下血腫により入院加療。

3. 国際交流について

(1) 国際会議に代表派遣

①WBA（世界ボクシング協会）第89回年次総会

[開催日時] 2010年11月24日~11月26日

[開催場所] ニカラグア (マナグア/クラウンプラザホテル)

[参加者] 500名

[協議事項]

- (a) 医事セミナー
- (b) 試合役員セミナー
- (c) 女子ボクシングについて
- (d) ヨーロッパのボクシング事情について
- (e) 指名試合について
- (f) 各表彰
アジア最優秀選手チャンピオンに内山高志 (ワタナベ) が選出された。
- (g) その他協議事項

[出席者]

- (a) JBC関係 中山善治関西地区事務局長、島川威、原田武夫
- (b) JPBA関係 筒井和彦 (八王子中屋)、鈴木眞吾 (角海老宝石)

②WBC (世界ボクシング評議会) 第48回年次総会

[開催日時] 2010年11月1日~11月5日

[開催場所] メキシコ (カンクン/ザ・ロイヤルホテル)

[参加者] 800名

[協議事項]

- (a) メディカルセミナー
- (b) 試合役員セミナー
- (c) ランキング委員会
- (d) 指名試合について
- (e) WBCオール・アジア・チャンピオンシップについて
- (f) ボクサーズ・パスポートについて
- (g) タイトルマッチ使用グローブについて
- (h) 予備計量について
- (i) WBCケアーズ
ホセ・スライマン会長とともに富樫直美 (ワタナベ) らが孤児院やエイズ患者用ホスピスの複合施設、公共ボクシングジムに対し、慰問活動を行った。
- (j) ホセ・スライマン会長がギネスブックに登録
ホセ・スライマン会長が、世界的スポーツ団体の会長として最長の任期を務めたことが認定され、ギネスブック担当者より認定証が送られた。
- (k) 各表彰
- (l) 次年度以降の開催地について
第49回年次総会開催地が、トルコからポーランド (ワルシャワ) に変更となり、第50回年次総会開催候補地として、アメリカ (ニューヨーク) が選出された。
- (m) その他協議事項

[出席者]

- (a) JBC関係 安河内剛本部事務局長、森田健理事、大槻穰治理事、福地勇治他
- (b) JPBA関係 本田明彦（帝拳）、筒井和彦（八王子中屋）他

③OPBF（東洋太平洋ボクシング連盟）第49回年次総会

[開催日時] 2010年11月3日

[開催場所] メキシコ（カンクン／ザ・ロイヤルホテル）

[参加者] 20名

[協議事項]

- (a) 会長国任期延長

日本の会長国任期を2012年末から2014年末へ延長する。

- (b) ランキング委員長選出

エリック・ブハイン氏（フィリピン／GAB）に代り、フランク・クイール氏（オーストラリア）が選出された。

- (c) 第50回年次総会について

参加者の了解を前提に2011年5月に東京での開催を予定。

- (d) ランキングに関する試合間隔について

- (e) 女子チャンピオンの世界挑戦について

- (f) ヘビー級タイトルについて

- (g) 各種表彰

- (h) その他協議事項

(2) その他

①WBA、WBC、OPBF、並びに各国コミッション関係者との交流（役員来日時随時）

②海外でのタイトルマッチに役員派遣

※内訳 WBC 6名、WBA 3名、OPBF 1名 [別表2参照]

③国際問題の処理について

④海外遠征並びに来日選手の各種試合契約の承認について

4. ボクシング功労者の表彰について

(1) 2009年度プロ・アマ年間優秀選手表彰式

[開催日時] 2010年1月26日（2010年1月6日選考）

[開催場所] 東京ドームホテル

[出席者] 347名

[表彰]

①プロの部 11部門（12名、1団体）

②アマの部 5部門（5名）

(2) 世界タイトル獲得並びにチャンピオンの引退について

①世界タイトル獲得

獲得日	タイトル	氏名 (所属)
1月11日	WBA世界スーパー・フェザー級チャンピオン	内山 高志 (ワタナベ)
2月7日	WBA世界フライ級チャンピオン	亀田大毅 (亀田)
10月2日	WBA世界スーパー・バンタム級チャンピオン	李冽理 (横浜光)
11月26日	WBC世界フェザー級チャンピオン	長谷川穂積 (真正)
11月26日	WBC世界スーパー・フェザー級チャンピオン	栗生隆寛 (帝拳)
12月26日	WBA世界バンタム級チャンピオン	亀田興毅 (亀田)

②チャンピオン引退

届出日	タイトル	氏名 (所属)
4月30日	元日本バンタム級チャンピオン	池原信遂 (大阪帝拳)
5月25日	元OPBF東洋太平洋ライト・フライ級チャンピオン	山口真吾 (渡嘉敷)
6月21日	元OPBF東洋太平洋ライト・フライ級暫定チャンピオン	和田峯幸生 (筑豊)
11月1日	元OPBF女子東洋太平洋ライト・フライ級チャンピオン	菊池奈々子 (白井具志堅)

(3) JBC特別功労賞

[日時] 2010年4月30日

[受賞者] WBC世界スーパー・バンタム級チャンピオン
西岡利晃 (帝拳)

5. 機関誌の発行について

- (1) ボクシング広報 (月刊)
- (2) 日本ボクシング年鑑

6. 選手記録 (戦績、診断の両記録カード)、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに保存 (継続)

7. 社会貢献活動

- (1) 「社会を明るくする運動」 (法務省主唱) への協力 (継続)

法務省の推進する「社会を明るくする運動」への協力実績に対し平成22年12月13日法務大臣感謝状表彰を受けた。

- (2) 各種講演会の実施

①第1回少年院講演会

[開催日時] 2010年2月3日

[開催場所] 浪速少年院 (大阪府茨木市)

[講師] 坂本博之氏 (元OPBF東洋太平洋ライト級チャンピオン)

川崎タツキ氏 (元OPBF東洋太平洋スーパー・ウェルター級ランカー)

①第2回少年院講演会

[開催日時] 2010年7月8日

[開催場所] 浪速少年院（大阪府茨木市）

[講師] 山下正人氏（真正ボクシングジム会長）

長谷川穂積氏（前WBC世界バンタム級チャンピオン）

8. その他

(1) 財団法人日本ボクシングコミッション第33回定例理事会並びに評議員会

[開催日時] 2010年2月22日

[開催場所] 後樂園飯店（東京都文京区後楽1-3-61）

[議案]

①2009年度事業報告、同収支決算報告承認

②2010年度事業計画、同収支予算承認

③役員人事改選

(再任理事) 林 有厚 齋藤 慎一
俵谷 利幸 向島 祐
大野 剛義 土屋 誠次
久代 信次 秋山 弘志
池井 優 谷 諭
森田 健 安河内 剛 (以上12名)

(退任理事) 久保田 榮一 吉田 幸夫
小島 茂 (以上3名)

(新任理事) 高橋 功 大槻 穰治 (以上2名)

(再任監事) 河野 忠功 朝井 正昭 (以上2名)

(再任評議員) 齊藤 楨三 小池 幸弘
中山 喜治 近藤 清
久末 聖治 津江 章二
浅尾 和信 内田 正一
浦谷 信彰 米倉 健司
原田 政彦 大橋 秀行
畑中 清詞 本田 憲哉
大鵬 健文 (以上15名)

(退任評議員) 大槻 穰治 (以上1名)

④新公益法人移行について

(2) 財団法人日本ボクシングコミッション定例理事会

[開催日時] 2010年12月14日

[開催場所] 後樂園飯店（東京都文京区後楽1-3-61）

[議案]

①2011年度事業計画承認

②2012年収支予算承認

③その他報告事項

(3) 物故者

- ・渡邊隆一郎（元コミッションドクター）2月17日死去（82歳）
- ・金城長栄（具志川ジム会長）2月22日死去（57歳）
- ・池田光春（池田ジム会長）3月27日死去（73歳）
- ・黒須昭男（宇都宮ジム会長）5月4日死去（66歳）
- ・柚木孝士（コミッションドクター）5月29日死去（70歳）
- ・覚前広昭（オール拳会長）12月23日死去（70歳）

(4) 紛争処理

(5) JBC・JPBA（日本プロボクシング協会）合同会議

(6) 年間優秀選手表彰選考他アマチュア関係者との協議

(7) 処分（倫理委員会）

①松原章訓（倉敷守安／ボクサー）

[処分] 厳重注意処分（2010年4月5日付）

[理由]

倉敷守安ジム所属ボクサー松原 章訓は、2010年4月4日和歌山県立体育館で行われたノンタイトル8回戦において、第4ラウンド中のドクターチェックに際し、ドクター、並びにレフェリーに対し不適切な発言があったため。

②山下忠則（高砂／クラブオーナー）

[処分] 2009年10月25日よりライセンス停止6か月（2010年4月9日付）

[理由]

高砂ジムクラブオーナー山下忠則は、2009年10月25日高砂市内で傷害事件を起こし、罰金刑に処されたため。

③亀田史郎（亀田）

[処分] セCONDライセンスの取り消し（2010年4月13日付）

五十嵐紀行（亀田／クラブオーナー・プロモーター）

[処分] クラブオーナーライセンス、プロモーターライセンスの無期限停止
（2010年4月13日付）

[理由]

亀田史郎は過去に2度の厳重注意処分を受け、2007年10月15日付でセCONDライセンスの無期限停止処分を受けていたにも関わらず、2010年3月27日試合

関係者に対して威嚇、恫喝行為を行ったため。

五十嵐紀行は会長としてセコンドライセンス無期限停止中の身にある亀田史郎の行動を厳しく監督すべき立場にあったにも関わらず、同人と共に執拗な抗議を行い、同人の言動を増長させたため。

⑤磯目洋一（全日本パブリック／マネージャー）

[処分] 厳重注意処分（9月29日付）

小澤大将（全日本パブリック／ボクサー）

[処分] 厳重注意処分（9月29日付）

[理由]

2010年9月25日後楽園ホールにおいて、公式試合において使用を禁じられている水絆創膏を使用したため。